

据付説明書 据付チェックシート

日立全自動電気洗濯機

洗濯・脱水容量 10kg

HITACHI

Inspire the Next

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	2
付属品	3

据え付け場所の確認

水栓(蛇口)の確認	4
ワンタッチつぎでの取り付けかた	5
据え付け場所	6
防水パンの設置	6
防水パン、洗濯機用トレー、設置台	7
排水トラップの設置	7
糸くずボックスの設置	7

据え付け

排水ホースの引き出しかた	8
排水ホースの接続	9
排水ホースを排水口に差し込む場合	9
排水ホースの長さ調節のしかた	9
排水エルボまたは排水トラップに接続する場合	9
排水ホースの延長	10
本体の下に排水口がある場合	11
設置条件	11
水平を確認する	12
調節脚の使いかた	13
水準器の気泡位置と脚高さ調節方法の目安	13
給水ホースの取り付けかた・外しかた	14
本体側	14
ユニオンナットの取り付けかた	14
ユニオンナットの外しかた	14
水栓(蛇口)側	15
スライダーの取り付けかた	15
スライダーの外しかた	15
給水ホース関連部品	15

アース線の接続と電源の確認

アース線の取り付け	16
電源(コンセント)	16

別売り部品

別売り部品	17
-------	----

据付チェックシート

外観の確認	18
排水ホースの付け替え確認	18
排水ホースの排水口などへの設置確認	19
給水ホースの取り付け確認	19
お湯取ホースの取り付け確認	20
電源(コンセント)の確認	20
本体の水平確認	20
試運転の確認	22

お客様は施工しないでください。

据え付けをされる方へ

- 据え付ける前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据え付けてください。
- 給水口、排水口、排水ホースによる水漏れなどを防ぐため、この「据付説明書」の内容に従って、正しく据え付けてください。
- この「据付説明書」は、お客様にお渡しください。
- この「据付説明書」の内容どおりに据え付けしていない場合は、危害や損害を生じても負担をおいかねますのでご了承ください。

お客様へ

- 据え付けは、お買い求めの販売店か施工業者にご依頼ください。
- 転居や排水口などの点検時に、本体を移動する場合がありますので、この「据付説明書」は、「取扱説明書」とともに大切に保管してください。

据え付け終了後は、「試運転」「据付チェックシート」に従って据え付け状況を確認し、お客様に異常がないことを報告するようお願いします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

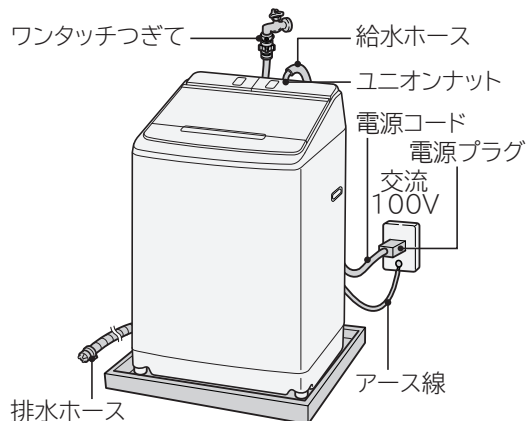
据え付ける前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据え付けてください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかねますのでご了承ください。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。



本書に記載のイラストは代表機種です。

警告

電源プラグ・電源コードの発火や漏電を防ぐために（感電・けが、発煙・発火・火災のおそれ）



注意

- 据え付け作業を行う際は、手袋を着用する
けがを防止するためです。



禁止

- 電源コードを傷つけない
・傷つけない、加工しない ・無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない ・加重をかけない、挟み込まない
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
- 傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない
- タコ足配線をしない、延長コードを使用しない



指示

- 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
- 電源プラグを根元まで差し込む
- 電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふき取る



プラグを抜く

- 電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く
- お手入れの際や長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く



アース線接続

- アース線を取り付ける
アース線を取り付けないと、漏電のときに感電することがあります。

本体の故障や事故を防ぐために（感電・けが・電気部品の損傷・本体の転倒・ふたのガラス部の割れや傷のおそれ）



水場禁止

- 浴室など湿気の多い場所、屋外など風雨にさらされる場所に据え付けない
感電または電気部品を傷めるおそれがあります。



禁止

- キャスター付きの設置台や、不安定な場所に据え付けない
運転中の振動で本体が移動したり、転倒したりしてけがをするおそれがあります。

! 注意

水漏れを防ぐために



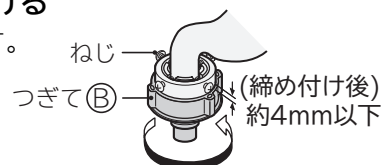
●給湯器とつながない

瞬間的に50℃以上の温水が給水され、部品の故障や水漏れにより思わぬ被害を招くことがあります。



●付属品のワンタッチつぎてを使用し、つぎて③をしっかり締め付ける

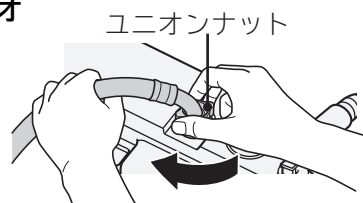
- ・付属品以外のワンタッチつぎてを使用すると水漏れの原因になります。
 - ・長年使用するとねじやワンタッチつぎてが緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
- 定期的に点検し、緩んでいる場合は、さらに締め付けてください。



●液体洗剤タンク・柔軟剤タンクを外してから、給水ホースが回らないように片手で押さえ、つぎてが上下にぐらつかないところまでユニオンナットを回す。

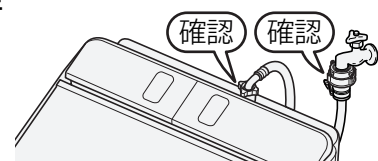
ユニオンナットをさらに約90°回し、しっかり締め付ける

- ・付属品以外の給水ホースを使用すると、水漏れの原因になります。
- ・長年使用するとユニオンナットが緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検し、緩んでいる場合はさらに締め付けてください。



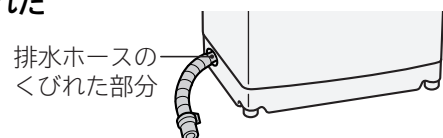
●据え付け直後や移設直後など、水栓接続を変えたあとは、まず水栓(蛇口)を開いて水漏れがないことを確認する

水栓(蛇口)接続部にさびや傷などが発生していると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。



●本体を据え付けるときは、ホース引出口に排水ホースのくびれた部分を合わせ、排水ホースを本体内部でたるませない

内部でたるんでいるとほかの部品と接触し、排水ホースが破れて、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。



付属品

※太枠内：一部製品のみ付属

水栓(蛇口)との接続に 使用します		風呂水を使うときに 使用します		お湯取ホースを 片づけるときに 使用します	本体を水平に 据え付けるときに 使用します	お湯取ホースなど を収納するときに 使用します
給水ホース (約0.8m)	ワンタッチ つぎて	お湯取ホース (約4m) (吸水ホース)	クリーン フィルター	お湯取ホース 掛け	脚キャップ (高さ調整用)	ポンプバック
(1本)	(1個)	(1本)	(1個)	(1個)	(各1個)	※背面に磁石が付いています。 本体に取り付けて ご使用ください。 (1個)

水栓(蛇口)の確認

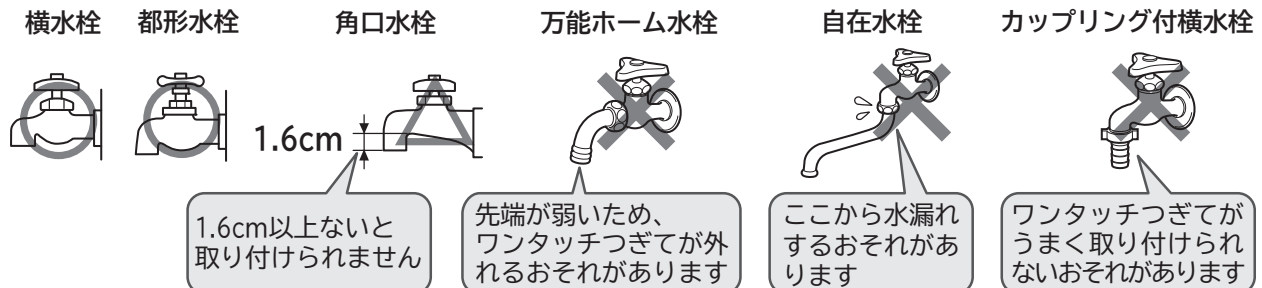
設置条件によっては、別売り部品が必要となる場合があります。

ワンタッチつぎてを使用する水栓の場合(チェック項目)

横水栓、都形水栓など、適した水栓を使用してください。

適さない水栓にワンタッチつぎてを使用すると、水漏れするおそれがあり、保証はできません。

自在水栓は使用できません。



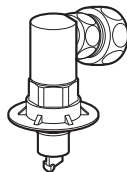
ワンタッチつぎてを使用できない水栓の場合

給水栓ジョイント(オートストッパー付)

CB-J6(別売り部品)

オートストッパー付水栓部品を使用してください。給水ホースが外れると、水漏れ防止のため給水を自動でストップします。取り付け方法は、部品の取扱説明書をご覧ください。

※右記以外の給水栓部品は使用しないでください。ツバがないと外れて水漏れするおそれがあり、保証はできません。



給水ホースの接続例

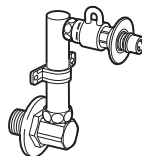
万能ホーム水栓・ツバのない全自動洗濯機用水栓	自在水栓	カップリング付横水栓

水栓の位置が低く、本体の背面に水栓が当たる場合

壁ピタ水栓(オートストッパー付)

CB-L6(別売り部品)

工事が必要です。

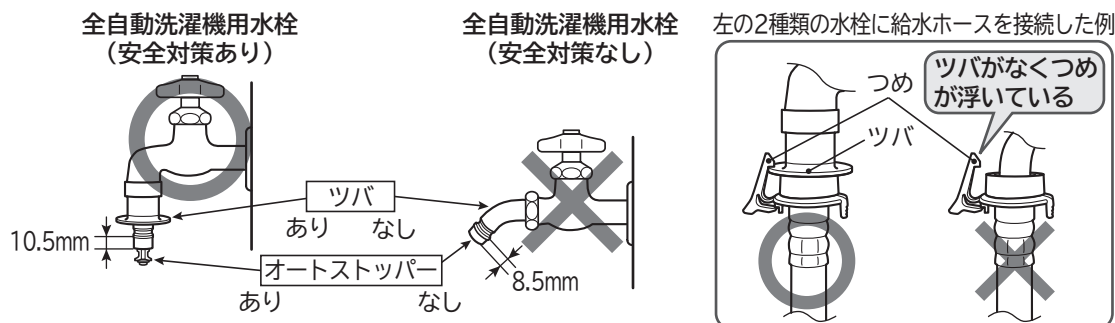


全自動洗濯機用水栓(チェック項目)

全自動洗濯機用水栓(給水ホースを直接差し込める水栓)にも適合しない物があります。使用する場合は、日本電機工業会規格JEM1206に準拠した水栓を使用してください。(オートストッパー付きでツバがあり、先端寸法が10.5mmのものであれば問題ありません) 使用している水栓が準拠しているかは、水栓メーカーにお問い合わせください。ただし、ツバのないものは使用できません。

全自動洗濯機用給水栓(オートストッパー付)
YS81(別売り部品)

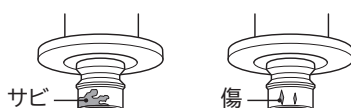
工事が必要です。



※オートストッパー付きは、給水ホースが外れると、水漏れ防止のため給水を自動でストップします。

水栓接続部にさびや傷や凹凸があると、水漏れの原因になるため使用できません。

さびや傷がある場合は、水栓を取り替えてください。



ワンタッチつぎての取り付けかた

⚠ 注意



付属品のワンタッチつぎてを使用し、つぎて③をしっかりと締め付ける(チェック項目)

指示

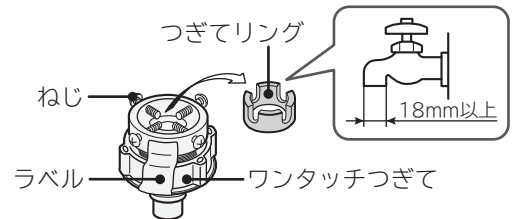
- 付属品以外のワンタッチつぎてを使用すると水漏れの原因になります。
- 長年使用するとねじやワンタッチつぎてが緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検し、緩んでいる場合はさらに締め付けてください。

水栓(蛇口)およびワンタッチつぎては、本体に触れないようにする(チェック項目)

- 振動により水漏れの原因になります。
- 水栓(蛇口)のパッキンや金属部などが、長年使用していると経年劣化やさびなどにより、水漏れに至るおそれがあります。

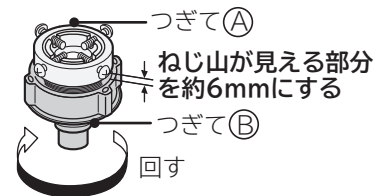
1 水栓(蛇口)の直径を確認する

直径が18mm以上のときは、つぎてリングを外します。

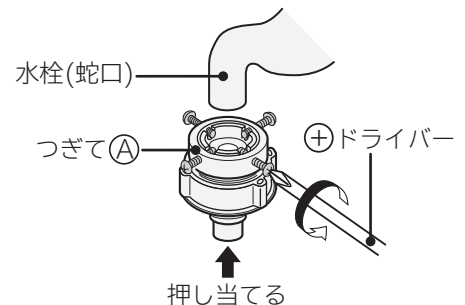


2 つぎて①、②とのすき間が6mmあることを確認する

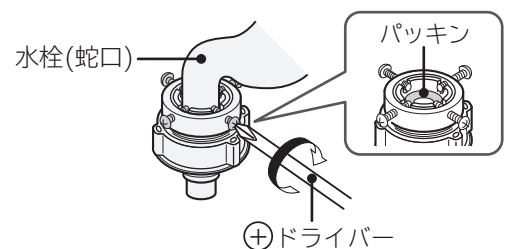
つぎて②を矢印方向に回し、すき間を調節します。



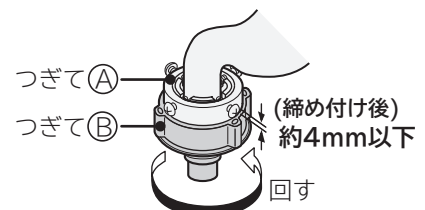
3 つぎて①のねじ4本を水栓(蛇口)の直径まで緩め、水栓(蛇口)の先端に押し当てる



4 壁側になるねじを先に手で締め、水栓(蛇口)がパッキンの中心になるように、ねじ4本を均等にしっかりと締め付ける



5 つぎて②を矢印方向に回し、つぎて①と②のすき間を約4mm以下にする

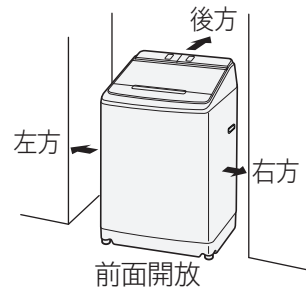


- 給水ホースの取り付けは、「給水ホースの取り付けかた・外しかた」→(P.14)をご覧ください。
- 長年使用するとねじやつぎて①、②が緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
- ②～⑤の手順に従い、取り付け直してください。付け直しても水漏れするような場合は、ワンタッチつぎてと給水ホースを取り替えてください。
- (転居のときなど、ワンタッチつぎてを取り付け直すときにも同じ作業を行ってください)
- ワンタッチつぎてが壊れたり、紛失した時は、別売り部品のワンタッチつぎて(NW-8EX 043)をお買い求めください。

据え付け場所

据え付けに必要な寸法を確認してください。

- 本体は前面を開放して、背面や左右の壁などから右表の寸法以上離してください。
- 排水ホースの引出側は、9cm以上離してください。
異常な振動や音を防ぐためです。
- 別売り部品の糸くずボックス(WLB-4)を使用するときは、排水ホース側を15cm以上離してください。
- 別売り部品の直下排水L形パイプを使用したときは、13cm以上離してください。

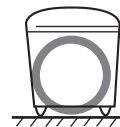


場所	離隔距離(cm)
左方	1.5※
右方	1.5※
後方	1.5

※排水ホース側は9cm以上

しっかりした床に、水平に据え付けてください。

すべりやすい床や、弱い床は、振動や騒音が大きくなる
ことがあります。



しっかりした水平な床



弱い床



凸凹床

直射日光が当たる場所、40℃以上になる場所、発熱器具のそばに据え付けしないでください。

本体内部の温度が異常に高くなり、外観が変形・変色して本体が故障するおそれがあります。

屋外など凍結のおそれがある場所に、据え付けしないでください。

本体内部の残水が凍結し、思わぬ被害を招くことがあります。



警告



有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）を扱う場所に据え付けない
引火したり、プラスチック部品が故障するおそれがあります。

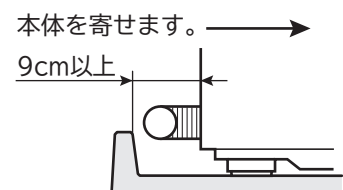
禁止

防水パンの設置

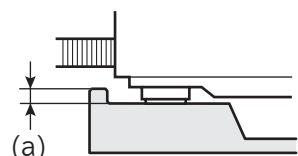
床面を結露による水滴から守るときに、別売り部品の洗濯機用防水パンを設置することをおすすめします。

内寸が幅62cm以上、奥行53cm以上、高さ8cm以内の防水パンに設置できます。
(BL規格防水パン対応)

- 排水口の位置によっては、別売り部品の直下排水L形パイプ(HO-P5)が必要です。
- 排水口が本体の下になり、お手入れができない場合は、別売り部品の糸くずボックス(WLB-4)→(P.7)を設置することをおすすめします。
- 排水ホース出口位置が防水パンの高さより高い場合は、本体を寄せて排水ホース側のスペースを9cm以上離してください。



- 四隅が高くなっている防水パンは、排水ホース出口位置が高くなります。
(a)寸法が19mm以下の防水パンに設置できます。



防水パン、洗濯機用トレイ、設置台

設置条件によっては、別売り部品が必要となる場合があります。

床面を結露による水滴から守るときに、別売り部品の洗濯機用防水パン(TP-780)・洗濯機用トレイ(YT-4)を設置することをおすすめします。



警告



指示

防水パン使用時は、防水パンの排水に注意する
防水パンの排水口が詰まると、水がたまりあふれて感電するおそれがあります。

本体を高くするとき、および防水パンの中に据え付けられないため、本体の脚を防水パンから外に出して据え付けるときは、別売り部品の設置台(UP-D2)を設置することをおすすめします。

キャスター付きの設置台や底面が開口した設置台は、排水ホースが外れたり、本体が転倒してけがをするおそれがありますので、使用できません。

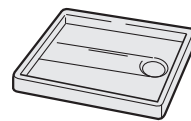


警告

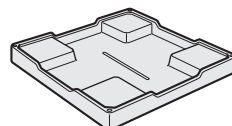


指示

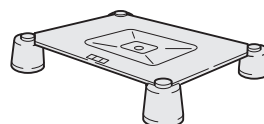
本体を高くするときは、別売り部品の設置台を使用する
別売り部品の設置台以外を使用すると、本体の下には回転部があるので、手足などが入りけがをするおそれがあります。



洗濯機用防水パン(TP-780)
(幅780×奥行640×高さ63mm)
工事が必要です。



洗濯機用トレイ(YT-4)
(幅640×奥行640×高さ83mm)
部品番号 YT-4-001



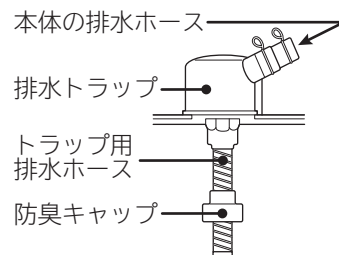
設置台(UP-D2)

据え付け場所の確認

排水トラップの設置

排水口からの逆流やにおいの吸い込みを防ぐために、別売り部品の洗濯機用排水トラップ(YT-T1)を設置することをおすすめします。

- 排水トラップ(YT-T1)の設置には工事が必要です。
- 据え付けにあたっては、設置条件を確認してください。
本体横に13cmの設置スペースが必要です。
- 排水トラップの説明書をご覧ください。
接続後は、排水ホースを引っ張っても抜けないことを確認してください。
また、試運転を行い、排水ホース接続から水漏れがないことを確認してください。

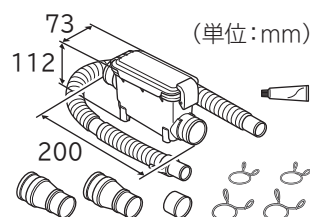


洗濯機用排水トラップ(YT-T1)

糸くずボックスの設置

排水口が糸くずなどで詰まりやすくなったときや、掃除が困難な設置条件の場合は、別売り部品の糸くずボックス(WLB-4)を設置することをおすすめします。

- 排水ホースに取り付け、洗濯した際の糸くずなどを集めて取り除きます。
- 排水トラップを使用する場合は、あわせて設置することをおすすめします。
排水トラップの詰まりを防止することができます。



糸くずボックス(WLB-4)
部品番号 WLB-4-001

排水ホースの引き出しかた

⚠ 注意



指示

据え付けるときは、ホース引出口に排水ホースのくびれた部分を合わせ、排水ホースを本体内部でたるませない内部でたるんでいるとほかの部品と接触し、排水ホースが破れて水漏れするなど思わぬ被害を招くことがあります。排水ホースの先端はしっかりと排水口へ入れる

排水ホースは、出荷時本体下部に固定されています。

排水口の位置に応じて、下記手順に従って本体の左側、あるいは右側に付け替えてください。

排水口の位置が本体の下にあるときは、「本体の下に排水口がある場合」→(P.11)をご覧ください。

ご注意 固定されている排水ホースを引き出す場合、無理に引っ張らないでください。

1 本体を静かに後側へ倒す(ガラスフタが開かないようにテープなどで固定する)

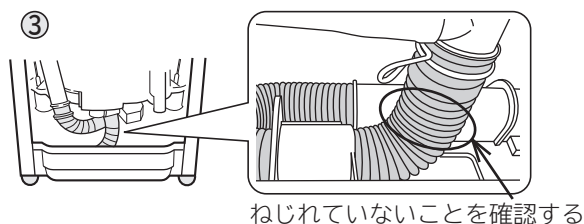
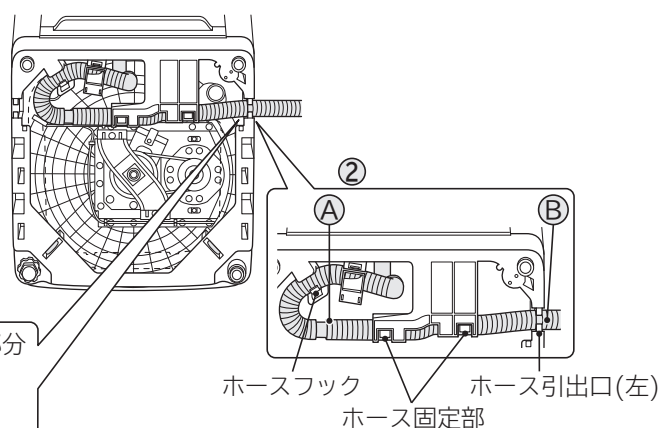
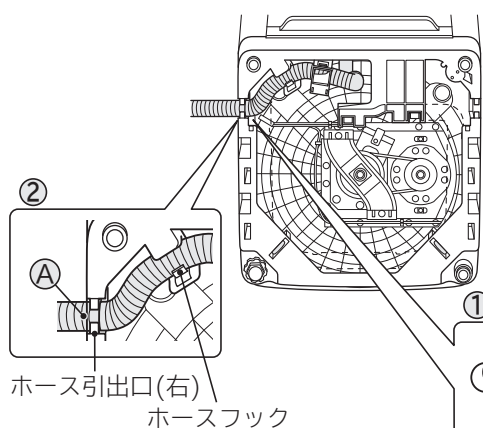
本体を倒す場合、液体洗剤タンク、柔軟剤タンクを外してから傷つき防止のためダンボールなどの上に静かに倒してください。また、ガラスフタが勢いよく開き、けがをするおそれや、部品の破損や故障の原因となりますので、静かに倒してください。

2 排水ホースを本体から取り外し、ホース引出口(右)、または(左)に取り付ける(チェック項目)

- ① 排水ホースの刻印文字(Ⓐ:ㄇㄣ̄ㄎ、Ⓑ:ㄒㄧㄉㄤ)を本体の外側に合わせ、くびれた部分をホース引出口にはめ込む
- ② 右側に引き出す場合はホースフック(1か所)、左側に引き出す場合はホースフック(1か所)とホース固定部(2か所)に固定する
- ③ 排水ホースが本体内部でねじれていないことを確認する

ホース引出口(右)に取り付ける場合

ホース引出口(左)に取り付ける場合



ご注意 ホースフック部へ排水ホースを取り付ける場合、ホースフックの角部で破損や穴をあけないように注意してください。また、排水ホースのくびれた部分など適切な位置で固定するようにしてください。

3 排水ホースの先端は、しっかりと排水口に差し込む

排水ホースが外れると、水漏れなどの思わぬ被害を招くことがあります。

排水ホースの接続

⚠ 注意



据え付ける前に排水口・排水トラップのお手入れをする

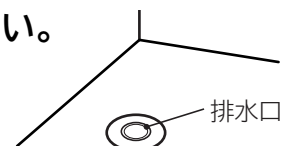
排水口・排水トラップに糸くずなどがたまっていると、排水不良やにおいの原因となります。

指示

排水ホースを排水口に差し込む場合(チェック項目)

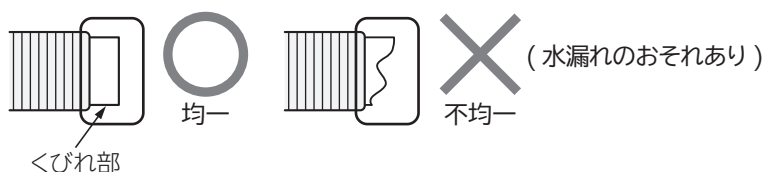
排水ホースの先端に、ホースピースが付いていることを確認してください。

排水ホースの長さを調節するときは、下記の手順により作業を行ってください。



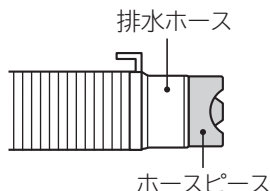
排水ホースの長さ調節のしかた

- ① 希望の長さのところで排水ホースをはさみやカッターなどで切断する
切断面は均一にしてください。
排水ホースを切断の際は、けが防止のために手袋を着用してください。

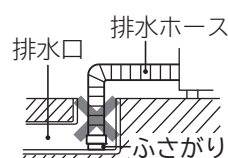
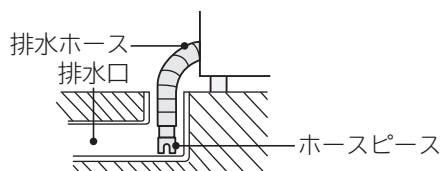


- ② 排水ホースの先端についているホースピースを付け直す

ホースピースを付けないと、排水がわるくなり、すすぎが不十分になったり、発泡して運転が止まる場合があります。

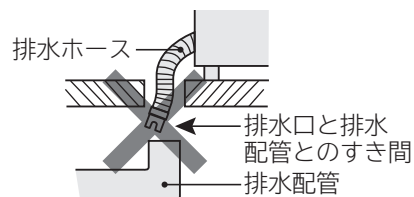


- 排水ホースは折れ曲がらないように差し込んでください。
- 排水ホースの先端がふさがってないことを確認してください。
排水口が浅く、先端がぶつかっていると、排水がわるくなります。
- 排水ホース先端が、排水の力や振動などで抜けないよう、しっかり差し込んでください。



排水配管が見えない場合は、排水配管の位置を確認してから、排水ホース先端を差し込んでください。

確認しないで差し込むと、水漏れの原因になります。



排水エルボまたは排水トラップに接続する場合(チェック項目)

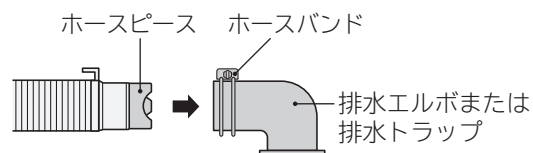
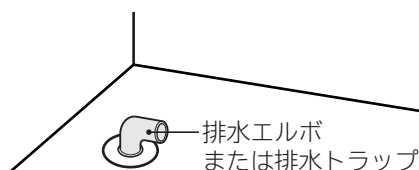
- ① ホースピースを排水エルボまたは排水トラップに接続する
- ② 接続後、ホースバンドで固定する

⚠ 注意



指示

ホースピースの根元までしっかりと差し込む
ホースバンドを固定したあと、排水ホースが抜けないことを確認する
排水ホースが外れて水漏れするなど、思わぬ被害を招くことがあります。



排水ホースの接続(つづき)

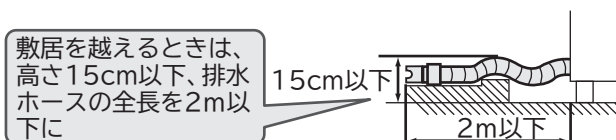
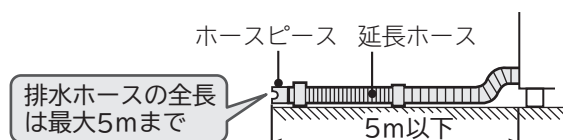
排水ホースの延長(チェック項目)

排水ホースを延長するときは、別売り部品の延長用排水ホースを使用してください。

部品番号 KW-50K1-023(長さ約80cm)

排水ホースを延長するときは、排水性能がわるくならないように、次の点をお守りください。

- 排水ホースが敷居をまたいで高くなっている場合は、排水ホース内部に糸くずなどの異物が詰まりやすくなります。
- 市販品の延長ホースを使用する場合、排水性能がわるくなり、正常な運転ができなくなる場合があります。
- 排水トラップを設置している場合は、定期的に排水トラップ内を掃除するようにしてください。
排水トラップ内で糸くずが詰まり、排水できなかったり、水漏れするおそれがあります。



⚠ 注意



指示

排水ホースの高さは15cm以下にし、排水口を詰まったままにしない
「C2」や「Ch」が表示される場合があります。

本体の下に排水口がある場合

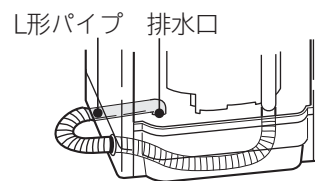
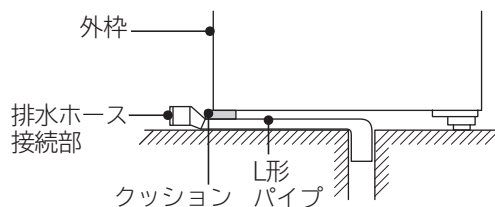
設置条件

本体の下に排水口があるときは、別売り部品の直下排水L形パイプ(HO-P5)を使用してください。

据え付けに当たっては、直下排水L形パイプ(HO-P5)に同梱の取扱説明書に従って設置してください。

1 排水口にL形パイプを挿入する

別売り部品の直下排水L形パイプには、長・短2本のL形パイプが同梱されています。
排水口の位置が本体外枠の外側より約15cm以内にある場合は短いL形パイプを、そのほかの場合は長いL形パイプを使用してください。



2 本体を据え付ける

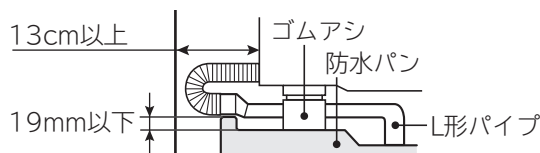
- L形パイプと排水ホースの接続部は、本体の外側に出るようにしてください。
- L形パイプが本体に直接当たらないように、クッションをはり付けてください。

3 排水ホースとL形パイプを接続する

- L形パイプの位置に合わせて、排水ホースを切断してください。
- L形パイプの排水ホース接続部に接着剤を塗布し接続してください。
排水ホースがねじれないように接続してください。

ご注意

- 防水パンの外周が高く取り付けられない場合は、別売り部品の直下排水L形パイプに同梱のゴムアシを設置してください。
- 排水ホースが壁と当たらないように13cm以上離して設置してください。

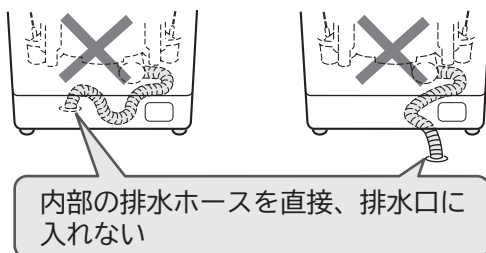


⚠ 注意



下図のような排水ホースの取り出しはしない
水漏れや異音の原因になります。

禁止



水平を確認する

⚠ 注意



本体を水平に据え付ける

水平に据え付けしないと、故障や水漏れ、脱水中の停止、異常音の原因になります。

1 本体を据え付け場所に置く

本体がガタつく場合は、次のように調節してください。

調節脚側が、ガタつく場合

調節脚を高くしてガタつきをなくしてください。

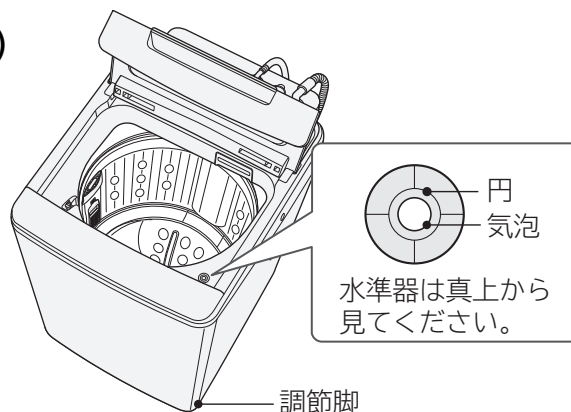
調節脚の反対側が、ガタつく場合

後ろ側の脚を床につけ、前側の脚と床面とのすき間に適当な板材などを敷いて、ガタつきをなくしてください。

2 水準器の気泡の位置を確認する(チェック項目)

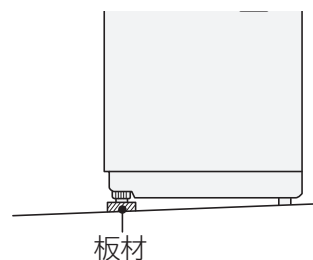
気泡が円の中に入っている場合は、脚の調節は必要ありません。

気泡が円の中に入っていない場合は、付属品の脚キャップで本体の水平を調節してください。



3 水準器の気泡の位置に応じて、固定脚に付属品の脚キャップを取り付ける (調節脚は回して高さを調節します)

脚キャップだけで調節できない場合は、床面の傾斜が大きいため、適当な板材などを敷いてください。



4 本体にガタつきがないことを確認する(チェック項目)

ガタつきがある場合は、調節脚で調節してください。

脚キャップについて

- 付属品の脚キャップは、4mm、8mmが各1個同梱されています。
必要に応じ、高さの低い方を下にして組み合わせて使用してください。
- 脚キャップを調節脚に取り付けることはできません。



4mm



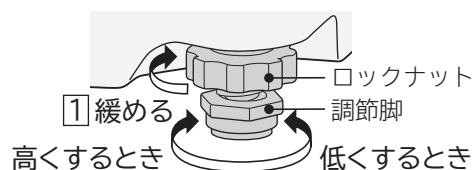
8mm

(各1個)

調節脚の使いかた

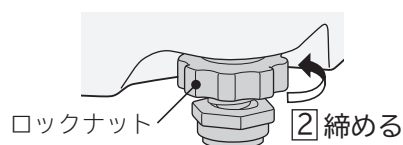
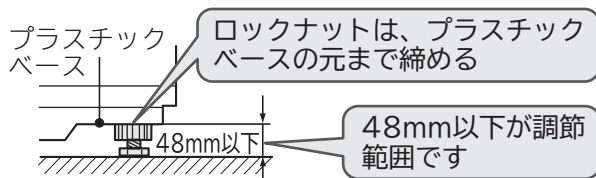
- 1 ロックナットを矢印方向 ① に回して
緩め、調節脚を回してガタつきを調節する

14mmまで高さ調節ができます。



- 2 調節が終わったら、ロックナットを
矢印方向 ② に「カチッ」と2回以上音がし、回らなくなるまで回して固定する

回しにくい場合は少し本体を浮かせて回してください。

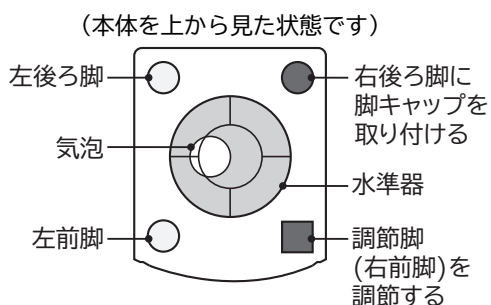


水準器の気泡位置と脚高さ調節方法の目安

■下表の見方

気泡の片寄り方向とはみ出し量を確認します。

(例) 気泡が左前脚方向にはみ出している場合：調整例の①



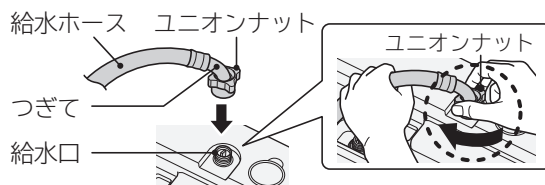
調節例			
気泡が円からはみ出している場合			
①	②	③	④
脚キャップを取り付ける	脚キャップを取り付ける	脚キャップを取り付ける	脚キャップを取り付ける
調節する	脚キャップを調節する 取り付ける	脚キャップを調節する 取り付ける	調節する

給水ホースの取り付けかた・外しかた

本体側

ユニオンナットの取り付けかた(チェック項目)

- ① 液体洗剤タンク・柔軟剤タンクを外した状態で、給水ホースのつぎてが回らないように片手で押さえながら、ユニオンナットが傾かないように給水口に合わせる
- ② つぎてが上下にぐらつかないところまでユニオンナットを矢印方向に回す
- ③ ユニオンナットをさらに約90°回し、しっかり締め付ける



⚠ 注意



指示

付属品の給水ホースを使用する

付属品以外の給水ホースを使用すると、水漏れの原因となります。

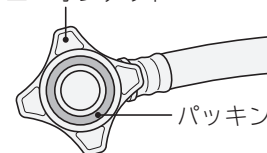
ユニオンナット内のパッキンに異物が付着していたり、パッキンが斜めに取り付けられていないことを確認する

水漏れの原因となります。

ユニオンナット取り付け後に、つぎてのぐらつきやユニオンナットの緩み・傾きがないことを確認する

- 水漏れの原因となります。
- 長期間使用するとユニオンナットが緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。緩んでいる場合は、さらに締め付けてください。

ユニオンナット

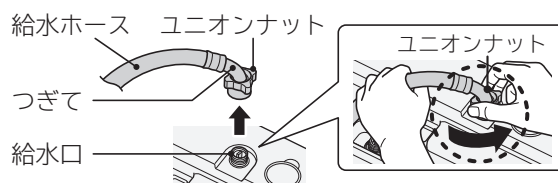


ユニオンナットの外しかた

給水ホースが水栓(蛇口)側と接続されていない場合は、手順⑦のみ実施してください。

- ① 水栓(蛇口)を閉める
- ② **切/入** を押し、電源を入れる
- ③ **洗濯** を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ
すぐに給水動作が始まるためです。
- ④ **スタート一時停止** を押し、約1分間運転する
給水ホース内の残水が、洗濯・脱水槽内に入ります。
- ⑤ **スタート一時停止** を押し、運転を一時停止する
- ⑥ **切/入** を押し、電源を切る
- ⑦ 液体洗剤タンク・柔軟剤タンクを外した状態で、ユニオンナットを矢印方向に回して給水ホースを外す

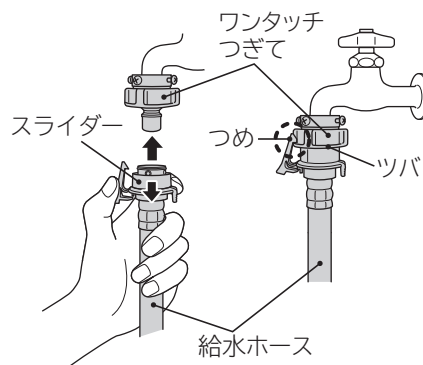
給水ホース内の残水が垂れる場合があります。
給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか
ぞうきんなどで水を受けてください。



水栓(蛇口)側

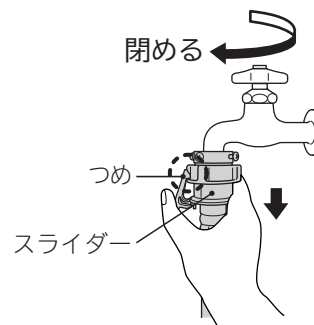
スライダーの取り付けかた(チェック項目)

- 1 スライダーを押し下げる
- 2 スライダーを押し下げながら、ワンタッチつぎてに差し込む
- 3 スライダーを離して、「パチン」と音がするまで給水ホースを押し上げる
 - 給水ホースのつめが、ワンタッチつぎてのツバにしっかり掛かっていることを確認してください。
 - 給水ホースを引っ張り、抜けないことを確認してください。



スライダーの外しかた

- 1 水栓(蛇口)を閉める
- 2 **切/入** を押し、電源を入れる
- 3 **洗濯** を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ
すぐに給水動作が始まるためです。
- 4 **スタート一時停止** を押し、約1分間運転する
給水ホース内の残水が、洗濯・脱水槽内に入ります。
- 5 **スタート一時停止** を押し、運転を一時停止する
- 6 **切/入** を押し、電源を切る
- 7 つめを外し、スライダーを押し下げながら、給水ホースを外す



給水ホース関連部品

給水ホースを延長するとき

長さ	部品番号
1m	KW-S451-618
2m	KW-S451-619
3m	KW-S451-620

本体と水栓(蛇口)の距離が近いとき

長さ	部品番号
0.5m	NW-6SD-031

アース線の取り付け (チェック項目)

警告



アース線を取り付ける

アース線を取り付けないと、漏電のときに感電することがあります。

アース線接続

アース線を取り付けてください。

- 万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。また、漏電遮断器の取り付けもおすすめします。
- アース線を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
- 据え付け場所の変更や転居の際は、アース線の取り付けを行ってください。

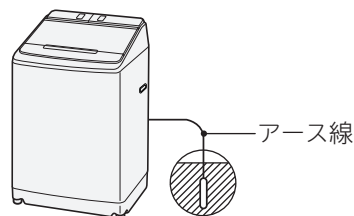
アース端子がある場合

アース線をアース端子に接続してください。



アース端子がない場合

アース工事をしてください。



(電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう、法令で定められています)

注意



禁止

次のようなところには、アース線を接続しない(法令などで禁止)

ガス管、電話線、避雷針、水栓(蛇口)

・水道管は途中から塩化ビニール管になっているところが多いため避けてください。

電源(コンセント) (チェック項目)

警告



禁止

●電源コードを傷つけない

- ・傷つけない、加工しない
- ・無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない
- ・加重をかけない、挟み込まない

●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

●傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない

●タコ足配線をしない、延長コードを使用しない



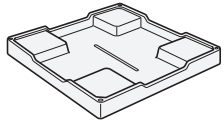
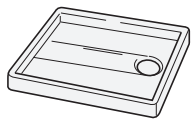
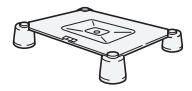
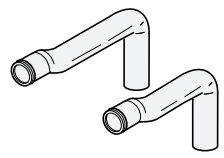
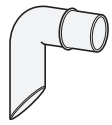
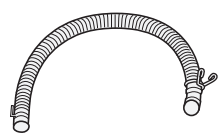
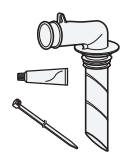
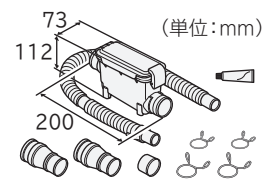
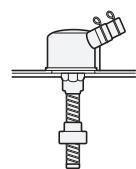
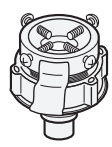
指示

定格15A以上、交流100Vのコンセントを単独で使う

ほかの器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して発火することがあります。

別売り部品

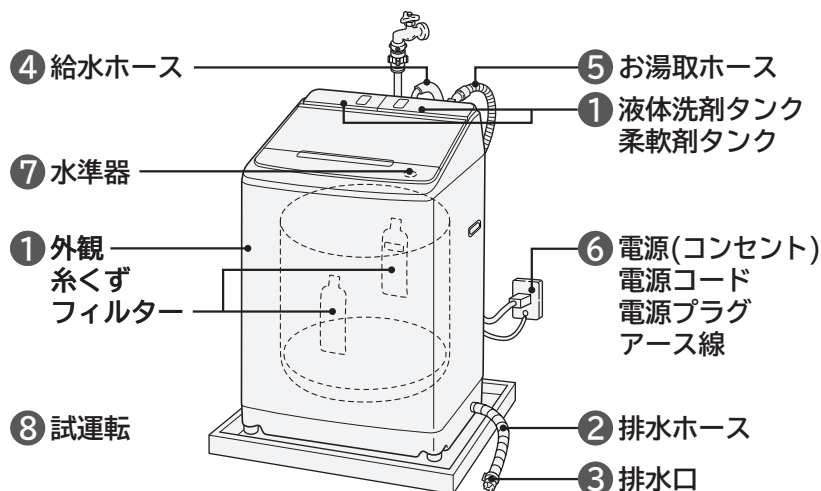
設置条件によっては、別売り部品が必要となる場合があります。

こんなときに	別売り部品	
床を結露による水滴から守るとき	洗濯機用トレイ (YT-4) (幅640×奥行640×高さ83mm) (部品番号 YT-4-001) 希望小売価格 12,700円(税別)	
床を結露による水滴から守るとき (専用部品が必要な場合があります)	洗濯機用防水パン (TP-780) (幅780×奥行640×高さ63mm) 希望小売価格 12,000円(税別) 工事が必要です。	
本体を高くするとき、および防水パンの中に据え付けられないため、洗濯機の脚を防水パンの外に出して据え付けるとき	設置台 (UP-D2) 希望小売価格 5,000円(税別)	
排水口が洗濯機の真下にあるとき	直下排水L形パイプ (HO-P5) 希望小売価格 1,000円(税別)	
	640幅防水パン用直下排水キット (HO-P10) 希望小売価格 800円(税別)	
排水ホースを延長したいとき	延長用排水ホース (約80cm) (部品番号 KW-50K1-023) 希望小売価格 800円(税別)	
排水口に接続するとき	Lパイプ (部品番号 BD-V3700L-003) 希望小売価格 700円(税別)	
排水口が糸くずなどで詰まりやすくなったとき	糸くずボックス (WLB-4) (排水ホース：長さ800mm) (部品番号 WLB-4-001) 希望小売価格 2,000円(税別)	
排水口からの逆流やにおいを防ぐとき	洗濯機用排水トラップ (YT-T1) 希望小売価格 4,000円(税別) 工事が必要です。	
付属のワンタッチつぎてが破損または紛失したとき	ワンタッチつぎて (部品番号 NW-8EX-043) 希望小売価格 1,300円(税別)	

希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

据付チェックシート

チェックポイント



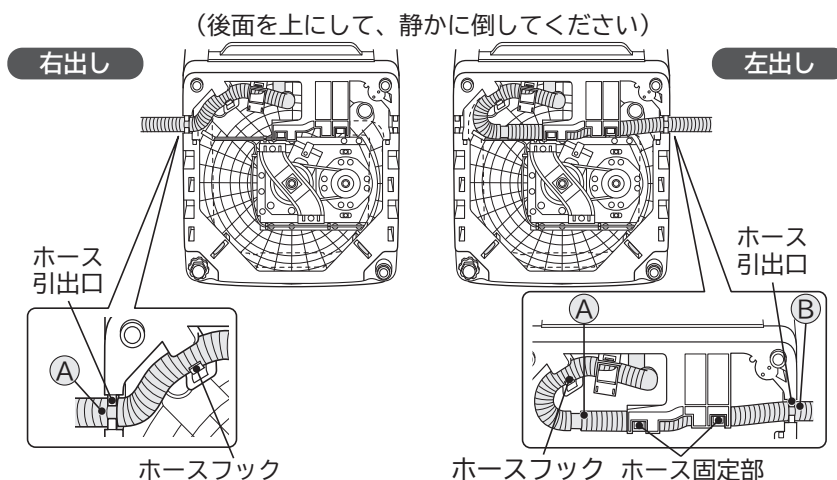
項目に従ってチェックをお願いします。(□: チェック欄)

1 外観の確認

- ☐ 本体表面にキズや凹みはありませんか？
- ☐ 糸くずフィルター、液体洗剤タンク、柔軟剤タンクはきちんと取り付けられていますか？

2 排水ホースの付け替え確認

- ☐ 本体を後側へ倒すとき、液体洗剤タンク・柔軟剤タンクを取り外していますか？
- ☐ 排水ホースは、ホースフック(右出し：ホースフック1か所、左出し：ホースフック1か所とホース固定部2か所)に固定されていますか？
- ☐ ホース引出口にホースのくびれた部分がきちんとはめ込んでありますか？
(右出しのときは(A):(ミギ)、左出しのときは(B):(ヒダリ)を本体の端に合わせてください)



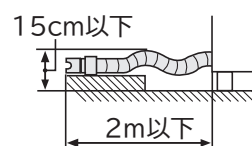
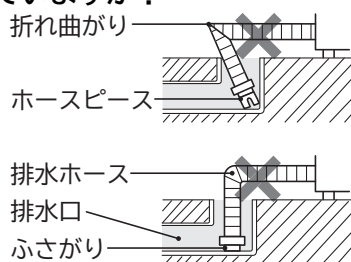
ホースフック部へ排水ホースを取り付ける場合、ホースフックの角部で破損や穴をあけないように注意してください。

- ☐ 排水ホースは本体内部でねじれていませんか？
- ☐ 排水ホースが本体と防水パンの間などでつぶされていませんか？

排水ホースの長さを調節するときは、「排水ホースの長さ調節のしかた」に従い作業してください。

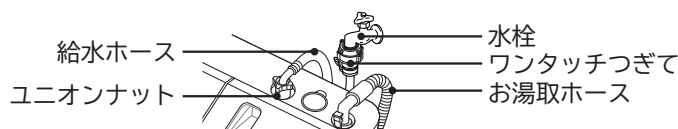
3 排水ホースの排水口などへの設置確認

- ☐ 排水口またはエルボ、排水トラップにしっかり取り付けられていますか？
- ☐ 排水ホースの先端にホースピースがついていますか？
- ☐ 排水ホースが折れ曲がっていませんか？
- ☐ 排水ホースの先端がふさがっていませんか？
- ☐ 排水ホースの先端が、排水の水の力や振動などで抜け出ませんか？
- ☐ 排水ホースの高さは15cm以下、排水ホースの全長は2m以下になっていますか？
(排水ホースが敷居をまたいで高くなっている場合、高さ15cmを越えると、
排水ホース内部に糸くずなどの異物が詰まりやすくなります)



排水トラップを設置している場合、お客様に定期的にトラップ内を清掃されるようおすすめください。
(排水トラップ内で糸くずが詰まり、排水できなかったり、水漏れするおそれがあります)

4 給水ホースの取り付け確認

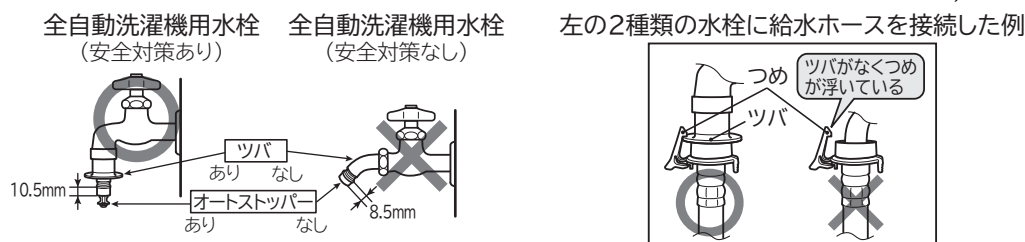


- ☐ 横水栓、都形水栓など、適した水栓を使用していますか？(自在水栓は使用できません)
- ☐ 全自動洗濯機用水栓(給水ホースを直接水栓に差し込める水栓)を使用していますか？
(自在水栓は使用できません)



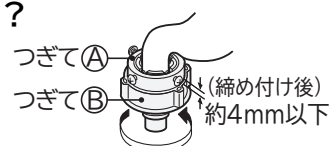
日本電機工業会規格JEM1206に準拠した水栓を使用してください。

(オートストッパー付きでツバがあり、先端寸法が10.5mmのものであれば問題ありません)



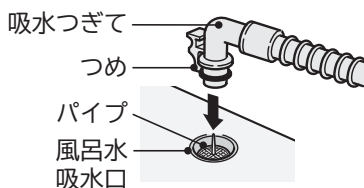
※オートストッパー付きは、給水ホースが外れると、水漏れ防止のため給水を自動でストップします。

- ☐ 給水栓先端にさび(めっき剥がれ)や傷などありませんか？
(さびや傷がある場合は、水栓を取り替えてください)
- ☐ 付属品のワンタッチつぎてを使用し、つぎて②をしっかり締め付けていますか？
- ☐ 水栓およびワンタッチつぎては、本体に触れていませんか？
- ☐ 給水ホースを洗濯給湯システムの水栓につないでいませんか？
- ☐ 液体洗剤タンク・柔軟剤タンクを外してから、給水ホースのつぎてが回らないように片手で押さえ、つぎてが上下にぐらつかないところまでユニオンナットを回す。ユニオンナットをさらに約90°回し、しっかり締め付けていますか？
- ☐ 給水ホースのつめが、ワンタッチつぎてのツバ部にしっかり掛かっていますか？
- ☐ 給水ホースを引っ張り、抜けないことを確認しましたか？
- ☐ 水栓を開いたとき、ワンタッチつぎて部およびユニオンナットからの水漏れはありませんか？
(水栓を開いて確認する)



5 お湯取ホースの取り付け確認

- ☐ 吸水つぎてのつめをパイプに引っ掛け、
抜けないことを確認しましたか？
- ☐ お湯取ホースが折れ曲がっていませんか？



6 電源（コンセント）の確認

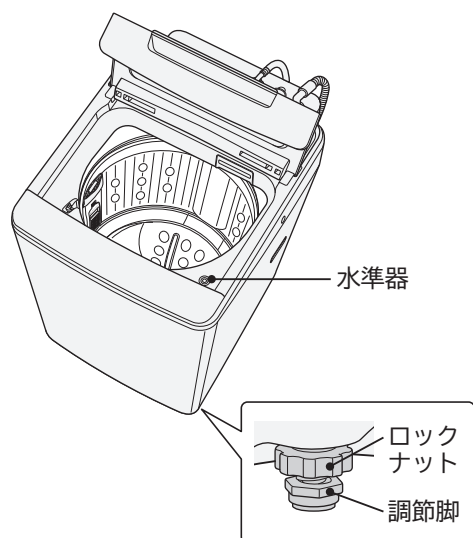
- ☐ 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使用していますか？
(ほかの器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火、またはブレーカーが作動することがあります)
- ☐ アース線を取り付けましたか？

7 本体の水平確認

- ☐ 本体はガタついていませんか？
- ☐ 水準器の気泡が円の中に入っていますか？

水準器の気泡位置と脚高さ調節方法の目安

- 1 本体のガタつきをなくす
(ガタつきがある場合は、調節脚で調節してください)
- 2 水準器の気泡の位置に応じて、付属品の脚キャップを取り付ける
 - 気泡が片寄っている反対側が低くなっていますので、
下表の調節例を参考に脚キャップを取り付けてください。
 - 付属品の脚キャップは、4mm、8mmが各1個同梱されています。必要に応じ、高さの低い方を下にして組み合わせて使用してください。
 - 脚キャップを調節脚に取り付けることはできません。
- 3 ガタつきがなくなるように、調節脚を調節する
調節脚は、回して高さを調節してください。
ガタつきがなくなったらロックナットで調整脚を固定してください。



据付チェックシート(つづき)

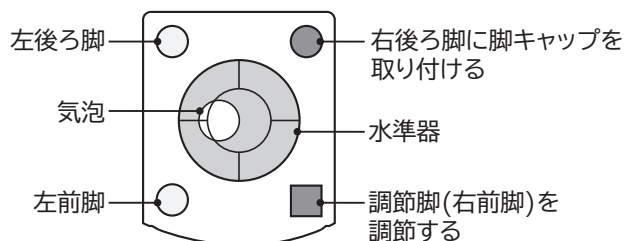
水準器の気泡位置と脚高さ調節方法の目安

■下表の見かた

気泡の片寄り方向とはみ出し量を確認します。

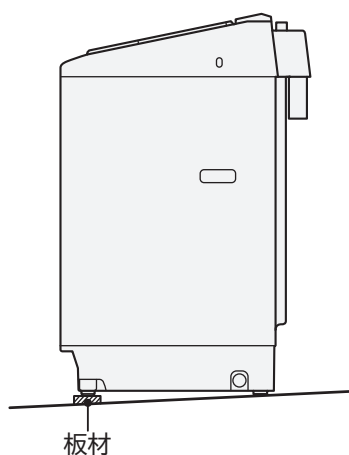
(例) 気泡が左前脚方向にはみ出している場合 ➡ 調節例の①

(本体を上から見た状態です)

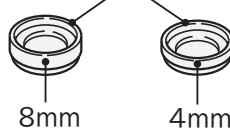


調節例			
気泡が円からはみ出している場合			
① 脚キャップを取り付ける 調節する	② 脚キャップを取り付ける 調節する	③ 脚キャップを取り付ける 脚キャップを取り付ける 調節する	④ 脚キャップを取り付ける 調節する

脚キャップだけで調節できない場合は、床面の傾斜が大きいため、適当な板材などを敷いてください。



脚キャップ(各1個)



8 試運転の確認

- ☐ 設置後は、洗濯・脱水槽内に何も入れないで下記手順で試運転を行い、異常音、ホース接続部からの水漏れや、排水ホース先端が排水口から抜けていないことを確認してください。

1 **切/入** を押し、電源を入れ、**脱水** と **予約** を同時に3秒以上押す

表示部に「77」が表示されます。

2 **スタート一時停止** を押し、水栓(蛇口)をゆっくりと開ける

本体に急激な水圧をかけないため、水栓(蛇口)はゆっくりと開けてください。
運転が始まり、約5分後に自動で停止します。

運転行程	時間	確認のポイント
① 洗剤量測定	約 15秒	・ 洗剤量表示が出るか
② 給水	約 150秒	・ 給水されているか ・ 接続されるホース(給水ホースなど)から水漏れがないか
③ 洗い	約 15秒	・ かくはん翼が回っているか ・ 水漏れや異常音がないか
④ 排水 ⑤ 脱水	約 120秒	・ きちんと排水されているか ・ 接続されるホース(排水ホースなど)から水漏れがないか ・ 異常音がないか

※時間は、水道水圧や排水状態により変動します。

- ④以降はふたが閉じていないと「C3」お知らせ表示が表示されます。
ふたを閉じて運転してください。
- 終了のメロディが鳴り、自動で電源が切れます。

- ☐ 運転終了後に、給水ホース接続部や本体などから水漏れして、床面などがぬれていないことを確認してください。

⚠ 注意



水栓(蛇口)をゆっくりと開ける

給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧により本体が破損し、水漏れやけがをするおそれがあります。

本体据え付け後や移設後など、水栓接続を変えたあとや運転前は、水栓(蛇口)を開いて水漏れがないことを確認する

ねじ接続部が緩んでいると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

また、長年使用していると、パッキンの経年劣化や金属部のさびなどにより、水漏れするおそれがあります。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111